

2020年9月24日

関係者各位

一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟
HPDU of Japan
理事長 北原隆志
監事 油井直次

拝啓 仲秋の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年度中は日本高校生パラメンタリーディベート連盟(HPDU of Japan)へご支援をいただき厚く御礼申し上げます。お蔭さまで、新型コロナウイルス対応のため急遽オンラインで実施した第9回本連盟杯全国大会他、本連盟主催で実施した行事全てを成功裏に終えることができました。その前年度(2020年6月期)事業報告がまとまりましたので、下記ご報告申し上げます。

敬具

—記—

2020年度HPDU事業報告書

(1) 第8回 高校生英語パラメンタリーディベート連盟新緑杯 全国大会 HPDU Spring Greenery Competition 2019

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

後援：公益財団法人 日本英語検定協会、一般社団法人 日本英語交流連盟

協賛：有限責任 あずさ監査法人

協力：iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社EdU Lab、株式会社オールアバウト、油井アソシエイツ株式会社

日時：2019年7月15(日) 10:00~17:00

場所：渋谷教育学園渋谷中学高等学校

- 参加資格：(1) 2019年6月9日(日)に行われた新緑杯東日本大会・西日本大会における上位2位校の生徒(該当校が不参加の場合、権利は次の順位の高校に移行)。チームの登録人数は5人まで。試合ごとのチーム内の交代は自由。ただし、試合ごとチーム内には必ず新人ディベーターが1人は含まれていること。新人ディベーターとは、現時でパラメンタリーディベート経験がおよそ10ヵ月未満の生徒を指します。(3年生のみのチームは遠慮してもらう)
- (2) 英語のネイティブスピーカーは不可。
- (3) 以下の海外生活経験等に該当する者は、各試合に参加できるのは1名までとする。
- ・英語を第1言語とする国で12か月以上滞在経験のある生徒。

- ・英語を第2言語とする国の出身である生徒。
- ・家庭で常用的に英語を使っている生徒。

試合形式：ノースアメリカンスタイル（7分、7分、7分、7分、4分、4分）、1チーム3名
2試合（トーナメント制 第一試合は東日本大会の優勝校と西日本大会の準優勝校、西日本大会の優勝校と東日本大会の準優勝校が対戦）
準備時間は20分とする。

参加校：神戸大学附属中等教育学校、さいたま市立浦和高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、
福井県立藤島高等学校

Motions(論題)：

Round 1: THW ban cosmetic surgery.

「本院は、美容整形を禁じる。」

Round 2: THW introduce compulsory voting.

「本院は、義務投票制を導入する。」

試合結果：優勝：さいたま市立浦和高等学校 準優勝：渋谷教育学園渋谷高等学校

3位：神戸大学附属中等教育学校 4位：福井県立藤島高等学校

招待ジャッジ：小野暢思（審査委員長/慶應義塾大学 KDS OB）、浅尾 碧城（学習院大学）

Aiko Maira Ikeda（国際教養大学）、

特記事項：小野チーフコーチによるレクチャーを実施

(2) 模擬G7サミット2020 「脱プラスチック社会の実現」

Model G7 Summit 2020

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

後援：(公財) 日本ユニセフ協会

趣旨：①グローバルリーダーにとって必要なスキルを育成するための実践練習の場を提供する。

②高校生の社会貢献活動や社会参画についての意識を高めるとともに、企画・運営力を育成する。

内容：日本にとっても人ごとではないプラスチック処理問題について高校生である自分たちに何ができるのか、英語又は日本語でディスカッションし、英語で発表した。

日時：2018年8月2日(木) 9:30~15:00

場所：渋谷教育学園渋谷高等学校

参加費：無料

参加校：都立小石川中等教育学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、渋谷教育学園幕張中学高等学校、東京学芸大学附属高等学校、桐光学園、広尾学園、洗足学園中学高等学校、普連土学園中学高等学校
(以上8校より30名)

ボランティア：運営委員1名、社会人2名、大学生1名、高校生17名【合計】21名

企画・運営：五十嵐詩帆、江崎真優、遠藤可奈子、神崎花南、杉本絢香、中山まり菜、林奈都美、宮本陸央(以上8名 渋谷教育学園渋谷高校)

ゲスト：5月に開催されたY20サミットのオープニングイベント「G20ユースダイアロ

グ」において高校生代表として発表をした石川満瑠さん（渋谷教育学園渋谷高校3年）からの報告、日本ユニセフ協会の高円承子氏による人々の意識を変える難しさと実践例や、ユニセフの活動についてのスピーチ。J7サミット2015日本代表として独メルケル首相と意見交換した足立愛音さん（東京大学法学部3年）からのアドバイス。

（3）第2回HPDU中学生パラメンタリーディベート大会

HPDU Middle School Competition 2019

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟（HPDU of Japan）

協賛：有限責任 あずさ監査法人（KPMG AZSA LLC）

協力：iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社E d u L a b、株式会社オールアバウト、油井アソシエイツ株式会社

趣旨：①全国の中学生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を身につける意義を伝える。

②高校生の社会貢献活動や社会参画についての意識を高めるとともに、企画・運営力を育成する。また、ジャッジの役割を通して、自己のディベート力を向上させる。

※高校生ジャッジは、18 か月以上のパラメンタリーディベート経験があり、公正な ジャッジとリフレクが可能な者に限る。

日時：令和 2 年 2 月 23 日(日) 9 時～16 時

場所：筑波大学附属駒場中学高等学校

参加資格：中学生(留学生、帰国生、外国籍の生徒も含む)。学校、個人での申し込み共に可能。チームの人数は 3 ～ 5 名(試合に出場するのは 3 人だが、試合ごとに選手入替可能)。人数が足りない場合は、運営側で他の個人申込者と組み合わせてチームを用意。

試合形式：短縮型ノースアメリカン・スタイル [4 分、4 分、4 分、4 分、3 分、3 分] (Constructive speech が 4 分で、Reply speech が 3 分)。4 試 合 数 4 試合(2 試合以降はパワーペアリング)。

参加費：1 チーム 2000 円、個人申し込みの場合は 1 人 700 円。

参加校：浅野学園中学校、足立学園中学校、栄光学園中学校、江戸川学園取手中学校、慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部、攻玉社中学校、渋谷教育学園渋谷中学校、渋谷教育学園幕張中学校、聖光学院中学校、世田谷区立用賀中学校、洗足学園中学校、筑波大学附属駒場中学校、東海中学校、東京大学附属中等教育学校、豊島岡女子学園中学校、栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校、都立両国高校附属中学校、東村山市立第六中学校、広尾学園中学校 (以上 20 中学より 28 チーム、101 名)

Motions(論題)：

Round 1: THBT teachers should be punished for bullying in their classrooms.

「本院は、担当クラスでいじめがあった場合、その教員を罰する。」

Round 2: THBT parents should have full access to their children' s social media.

「本院は、親は子供の SNS の管理権を持つべきであると考えてる。」

Round 3: THW ban films and music which glamorise socially undesirable conducts (e.g. drug abuse, racism).

「本院は、社会的に好ましくない行為（薬物乱用、人種差別等）を美化する映画や音楽を禁止する。」

Round 4: TH, as Japan, would accept all refugees.

「本院は、日本政府として、全ての難民を受け入れる。」

試合結果：優勝：渋谷教育学園渋谷中学校、準優勝：渋谷教育学園幕張高校、3位：渋谷教育学園渋谷中学校

ベストスピーカー賞 1位：筑波大学附属駒場中学校、2位：渋谷教育学園渋谷中学校、3位：渋谷教育学園渋谷中学校

ボランティア：運営委員 6名、社会人 4名、大学生 5名、高校生 37名【合計】52名

高校生運営委員：五十嵐詩帆、江崎真優、遠藤可奈子、神崎花南、杉本絢香、中山まり菜

(以上 6名 渋谷教育学園渋谷)

高校生ジャッジ：金 世和(渋谷教育学園幕張)、梶谷凜奈(渋谷教育学園幕張)、渡辺 丈(栄光学園)、岡田龍馬(さいたま市立浦和)、一瀬ルアナ(渋谷教育学園渋谷)、藤野こころ(渋谷教育学園渋谷)、遠藤可奈子(渋谷教育学園渋谷)、中山まり菜(渋谷教育学園渋谷)、竹内侑奈(渋谷教育学園幕張)、清水悠太(栄光学園)、柳澤 岳(浅野)、石井雄山(渋谷教育学園幕張)、正岡優一(攻玉社)、谷口美幸(渋谷教育学園渋谷)、石塚英郎(都立武蔵)、辻川文乃(杉並)、尾島 良汰(渋谷教育学園幕張)、道岡瞳子(慶應義塾湘南藤沢)

特記事項：新型コロナウイルス感染拡大防止のため3密の回避を行った SNS を利用した大会。

(4) 日本高校生パラメンタリーディベート連盟西日本オープン 2020

HPDU of Kansai Japan Open 2020

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

趣旨：関西の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することで、関西でのパラメンタリーディベートの認知を上げ、活動団体の増加を図る。また、即興型ディベートに取り組むことで、英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を涵養できることを共有し、さらには高校生と教員同士の交流を図り、共に学び合うコミュニティの構築を図る。

日時：2020年3月15日(日) 9:00～17:00

場所：オンライン (英語ディベート専用のプラットフォーム Mixidia を使用)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、政府から休校要請が出され、学校を会場として大会を開催することが困難となり、急遽オンライン上での同大会の開催を決定し、実施した。

内容：World School Debate Championship (WSDC) Style (但し 4分、4分、4分、4分、4分、4分、3分、3分) による英語ディベート大会。1チーム 3～5名 (1試合に出場するのは 3人)

だが、試合ごとに選手入替可能)。人数が足りない場合は、運営側で他の個人申込者と組み合わせてチームを用意。2試合目以降はパワーペアリング。

参加資格：日本国内の高校生(留学生、帰国生、外国籍の生徒も含む)。

参加費：1チーム 3,000円

参加校：神奈川聖光学院高校、近畿大学附属高校、香里ヌヴェール学院高校、神戸大附属中等教育学校、渋谷教育学園渋谷高校、渋谷教育学園幕張高校、翔凛高校、城之高校内、常翔学園高校、高松高校、東海高校、東大寺学園高校、奈良高校逗子開成高校、筑波大附属駒場高校筑波大附属高校、西大和学園高校、藤島高校 (以上16校より26チーム、78名)

Motions(論題)：

Round 1: THW ban violent games.

「本院は、暴力的なテーマとしたゲームを禁じる」

Round 2: THBT tiger-parenting does more harm than good as a form of education.

「本院は、モンスターペアレンツが教育に害を及ぼすと考える。」

Round 4: THW allow public servants to strike.

「本院は、公務員のストライキを肯定する。」

試合結果：優勝：渋谷教育学園幕張高校・筑波大附属駒場高校ジョイントチーム

準優勝：神戸大附属中等教育学校、3位：渋谷教育学園渋谷高校

招待ジャッジ：丹羽望(東北大学)、羽島千智(京都大学)、Kan Morita(大阪大学)、小林 優稀(上智大学)、三木一優(上智OB)、東田若菜(さいたま市立浦和高校)、吉田拓也(さいたま市立浦和高校)、和田真優実(国際基督教大学)、杉本啓太(九州大学)、増部光晟(京都大学)、小林卓史(慶應義塾大学)、伊藤翼(慶應義塾大学)、堀口 陽平(慶應義塾大学)

特記事項：日本初オンラインによるディベート大会

(5) 第9回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯

HPDU Competition 2020 (Co-sponsored by HPDU and ESUJ)

共同主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟、一般社団法人 日本英語交流連盟

後援：文部科学省、ブリティッシュ・カウンシル、カナダ大使館、オーストラリア大使館

特別協賛：有限責任 あずさ監査法人

協賛：公益財団法人 日本英語検定協会、iae グローバルジャパン株式会社、株式会社テレビ東京、キヤノン株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、ANA ホールディングス株式会社

メディアパートナー：読売新聞社

協力：株式会社アルク、イーエムティー株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社Edulab、株式会社オールアバウト、公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団、油井アソシエイツ株式会社

趣旨： 全国の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を養う。また、参加者間の交流を図り、共に学び合う関係を作る。

日時・場所：

- 1) 都道府県大会都道府県大会 2020年1月5日(土)～2月11日(月・祝) 場所は各地域で決定
- 2) 全国大会予選(42チーム) 2020年3月22日(日)9:30～17:45・オンライン(Zoomを使用)
- 3) 決勝トーナメント(上位8チーム)2020年3月23日(月)9:30～15:30・オンライン(Zoomを使用)

内容： World School's Debating Championships (WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えたもの)による英語ディベート大会。1チーム3名、予選4試合(2、3、4試合目はパワーペアリング) 各チームの勝ち数と得点ポイントで、上位8チームを決め、決勝トーナメント

全国大会参加資格： 日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加し、出場権を獲得した高校生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)。同一校のチームの参加とする。ただし、英会話スクールなど高等学校以外の団体は例外とする。

参加費： 1チームにつき3,000円

タイムテーブル：

第1日目 予選

8:50 点呼

9:20 第1試合 対戦表・論題発表(準備時間20分)

9:45 第1試合(約50分)

10:35 ジャッジによる勝敗の説明(30分)

11:25 第2試合 対戦表・論題発表(準備時間20分)

11:55 第2試合(約50分)

12:45 ジャッジによる勝敗の説明(30分)

13:15 休憩(昼食)

13:50 第3試合 対戦表・論題発表(準備時間20分)

14:15 第3試合(約50分)

15:05 ジャッジによる勝敗の説明(30分)

15:55 第4試合 対戦表・論題発表(準備時間20分)

16:25 第4試合(約50分)

17:15 ジャッジによる勝敗の発表なしのアドバイス(20分)

17:35 解散(結果発表はSNSで行います)

第2日目 決勝トーナメント

9:00 点呼
9:30 準々決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分)
10:00 準々決勝 (約 50 分)
11:15 準決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分)
11:40 準決勝 (約 50 分)
12:30 休憩 (昼食)
13:00 決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分)
13:30 決勝 (約 60 分)
15:00 結果発表

都道府県大会参加校：愛知県立旭丘高等学校、東海高等学校、千種高等学校、茨城県立緑岡高等学校、茨城県立日立第一高等学校、茨城県立古河第三高等学校、茨城県立竹園高等学校、水戸第一高等学校、清真学園高等学校、茨城県立水戸第二高等学校、茨城県立並木中等教育学校、岩手県立盛岡北高等学校、岩手県立一関第一高等学校、原田学園鹿児島情報高等学校、鹿児島育英館高等学校、鹿児島県立大島高等学校、鹿児島県立鶴丸高等学校、鹿児島県立甲南高等学校、鹿児島県立武岡台高等学校、ラ・サール高等学校、桐光学園、浅野学園高等学校、慶應義塾高等学校、湘南白百合学園高等学校、聖光学院高等学校、関東学院六浦中学校・高等学校、逗子開成中学校高等学校、相模原高校、洗足学園高等学校、慶應義塾湘南藤沢高等部、カリタス女子高等学校、神奈川県立厚木高等学校、栄光学園高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、湘南高校、岐阜県立岐阜高等学校、群馬県立前橋高等学校、埼玉県立伊奈学園総合高等学校、開智高等学校、埼玉県立浦和高等学校、さいたま市立浦和高等学校、埼玉県立大宮高等学校、佐賀県立佐賀西高等学校、藤枝明誠中学校高等学校、静岡県立三島北高校、渋谷教育学園幕張高等学校、翔凛高等学校、千葉県立松戸国際高等学校、千葉県立匝瑳高等学校、千葉県立船橋高等学校、市川高校、豊島岡女子学園高等学校、富士見高校、東京都立小石川中等教育学校、筑波大学附属駒場高等学校、東京都立三田高等学校、慶応義塾女子高等学校、成蹊高校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、攻玉社高等学校、東京都立両国高等学校、東京都立小平高等学校、学芸大学附属高校、東京都立日比谷高校、獨協中学高等学校、駒場東邦高等学校、東京都立国際高等学校、白百合学園中学高等学校、宇都宮東高等学校、栃木県立大田原女子高等学校、栃木県立足利高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、栃木県立佐野高等学校、大田原高等学校、宇都宮高校、松本深志高等学校県ヶ丘高校、伊那北高校、東大寺学園高等学校、藤島高等学校、神戸大学附属中等教育学校、日吉が丘高等学校 (以上 91 校)

全国大会参加校：

岩手県 岩手県立一関第一高等学校
福井県 福井県立藤島高等学校
富山県 富山国際大学附属高等学校
茨城県 茨城県立竹園高等学校、茨城県立常陸第一高等学校、茨城県立水戸第一高等学校、茨城県立並木中東

栃木県	栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校
埼玉県	さいたま市立浦和高等学校、埼玉県立伊奈学園総合高等学校、埼玉県立大宮高等学校
千葉県	千葉県立船橋高等学校、千葉市立稲毛高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校、翔凛高等学校
東京都	東京都立小石川中等教育学校、山崎学園 富士見中学高等学校、白百合学園高等学校、女子学院高等学校、東京都立国際高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、筑波大学附属駒場高等学校、豊島岡女子学園高等学校、攻玉社高等学校
神奈川県	神奈川県立多摩高等学校、桐光学園高等学校、浅野高等学校、栄光学園高等学校、逗子開成高等学校、聖光学院高等学校、神奈川県立相模原高校
静岡県	静岡県立浜松北高等学校、静岡県立藤枝東高等学校、加藤学園暁秀高等学校、静岡県立浜松西高等学校
愛知県	愛知県立千種高等学校、愛知県立旭丘高等学校、東海高等学校
大阪府	香里ヌヴェール学院高等学校、千里大阪インターナショナルスクール
兵庫県	神戸大学附属中等教育学校
香川県	香川県立高松高等学校
徳島県	徳島県立城ノ内高等学校

(以上44高校44チーム132名)

Motions (論題) :

予選 Round 1 This House would abolish the Olympic Games.

「本院は、オリンピック競技を中止する。」

予選 Round 2 This House would prohibit criminals from publishing descriptions of their crimes.

「本院は、犯罪者が自分の犯罪内容を公表することを禁じる。」

予選 Round 3 This House believes that the state should not subsidize art.

「本院は、国が芸術に助成金を支給するべきではないと信じる。」

予選 Round 4 This House believes that feminism movement should oppose affirmative action for women.

「本院は、フェミニズム運動は女性のための差別是正措置に反対するべきだと信じる。」

準々決勝 This House believes that humanitarian aid does more harm than good to active conflict zones.

「本院は、紛争中の地域に対する人道援助は、害の方が大きいと信じる。」

準決勝 This House would prohibit corporations from sponsoring academic research.

「本院は、法人が学術研究に出資することを禁じる。」

決勝 This House would abolish private property.

「本院は、本院は私的所有権を廃止する。」

予選大会結果：

順位	大学名	勝 数	得点				
1	渋谷教育学園渋谷高等学校	4	1105	23	浅野高等学校	2	1070
2	筑波大学附属駒場高等学校	4	1100	24	私立白百合学園高等学校	2	1064.5
3	栃木県立宇都宮東高等学校	4	1085.5	25	東京都立小石川中等教育学校	2	1064
4	渋谷教育学園幕張高等学校	3	1105	26	茨城県立水戸第一高等学校	2	1060
5	神戸大学附属中等教育学校	3	1087	27	加藤学園暁秀高等学校	2	1059.5
6	千里大阪インターナショナルスクール	3	1083	28	逗子開成高等学校	2	1058.5
7	聖光学院	3	1082	29	香川県立高松高等学校	2	1057.5
8	栄光学園高等学校	3	1080.5	30	茨城県立日立第一高等学校	2	1054
9	さいたま市立浦和高等学校	3	1079.5	31	神奈川県立相模原高校	2	1051
10	攻玉社高等学校	3	1077.5	32	千葉市立稲毛高等学校	1	1068.5
10	神奈川県立多摩高等学校	3	1077.5	33	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	1	1068
12	富山国際大学附属高等学校	3	1071.5	34	愛知県立旭丘高等学校	1	1062.5
13	豊島岡女子学園高等学校	3	1070	35	静岡県立浜松北高等学校	1	1060
14	福井県立藤島高等学校	2	1089	36	静岡県立浜松西高等学校	1	1056.5
15	女子学院高等学校	2	1079	37	栃木県立宇都宮高等学校	1	1055.5
16	桐光学園高等学校	2	1078.5	38	徳島県立城ノ内高等学校	1	1054
17	茨城県立竹園高等学校	2	1077	39	茨城県立並木中等教育学校	1	1049
18	東京都立国際高等学校	2	1075.5	40	岩手県立一関第一高等学校	1	1045.5
18	愛知県立千種高等学校	2	1075.5	41	千葉県立船橋高等学校	1	044
20	埼玉県立大宮高等学校	2	1072.5	42	山崎学園富士見中学高等学校	0	1057
21	翔凛高等学校	2	1070.5	43	静岡県立藤枝東高等学校	0	1048
21	東海高等学校	2	1070.5	44	香里ヌヴェール学院高等学校	0	1043.5

ベストスピーカー：

1	渋谷教育学園渋谷高等学校	Ayaka Sugimoto	320
2	渋谷教育学園幕張高等学校	Yuna Takeuchi	317
3	渋谷教育学園幕張高等学校	Rina Kajitani	316
3	渋谷教育学園渋谷高等学校	Kana Kanzaki	316

3	筑波大学附属駒場高等学校	Kotaro Yoshida	316
6	渋谷教育学園幕張高等学校	Rika Wakita	315
6	筑波大学附属駒場高等学校	Kanata Inokura	315
8	福井県立藤島高等学校	Yuki Shimoura	313
8	栃木県立宇都宮東高等学校	Mikoto Okada	313
8	渋谷教育学園渋谷高等学校	Kanako Endo	313
11	福井県立藤島高等学校	Kohei Azuma	312
11	栃木県立宇都宮東高等学校	Yuri Kawase	312
11	聖光学院	Shimada Naoki	312
11	神戸大学附属中等教育学校	Yuina Doura	312
11	神戸大学附属中等教育学校	Yuki Morita	312
16	さいたま市立浦和高等学校	Ayane Hamano	311
16	筑波大学附属駒場高等学校	Tomoya Mizutani	311
16	神奈川県立多摩高等学校	Seijun STOKES	311
16	栄光学園高等学校	Jo Watanabe	311
16	千里大阪インターナショナルスクール	Tyus Sheriff	311

決勝大会結果:

優勝：筑波大学附属駒場高等学校 準優勝：渋谷教育学園渋谷高等学校

3位：渋谷教育学園幕張高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校

5位：栄光学園高等学校、神戸大学附属中等教育学校、聖光学院高等学校、千里大阪インターナショナルスクール

ジャッジ（審査員）：パラメンタリーディベート経験豊富な社会人と大学生をジャッジとして招待した。予選大会では各ディベートに対し1人のジャッジが審査を行い、予選第1試合と第2試合終了後にはジャッジが口頭で試合の勝敗とその理由を説明した。準々決勝では各ディベートに3人、準決勝では5人、決勝では11人のジャッジが審査を行った。

招待ジャッジリスト:

- 1 小野暢思 Mitsushi Ono 審査委員長/慶應義塾大学KDS OB 32 times champion
- 2 久保大輔 Daisuke Kubo 近畿大学OB The Kansai Semi Finalist 2015、Winner of BP novice West 2015、Winner of BP novice west 2016、NEAO EFL Quoter Finalist 2016、Quoter Finalist of Japan BP 2017、ICUT Quoter Finalist 2018、Golden Cup Grand Finalist 2018、Golden Cup Grand Finalist 2019
- 3 山本順爾 Junji Yamamoto 慶應義塾大学KDS
- 4 後田壯 So Ushiroda 慶應義塾大学KDS
- 5 前田和寿 Kazuhisa Maeda SeikeiUmeko cup 2018 oct finalist
- 6 マリア Maria Ikeda AIU 5 times Champion, QDO Grand Finalist, NDO Semi Finalist
- 7 香川沙也 Saya Kagawa AGU 7th Best Adjudicator, Umeko Cup 2019/ Semi Finalist

- 8 浅尾 碧城 Tamaki Asao GUD
- 9 オーウェン パク Owen Park 慶應義塾大学KDS <Debater> Grand Finalist, 4th Best Speaker, Momiji Cup 2019、J Grand Finalist, National Team, GMU International Debate Championship 2018、Champion, Twice Overall Best Speaker, National Interschool Championships 2017 <Judge>Best Adjudicator, YTN-HUFS Debate Championship 2019、Invited and Breaking Adjudicator, Korea Youth Debate Championship 2019、Invited and Breaking Adjudicator, National High School Debate Championship 2019、Invited and Breaking Adjudicator, National High School Debate Championship 2018
- 10 干場健太郎 Kentaro Hoshiba 慶應義塾大学KDS
- 11 鈴木海人 Kaito Suzuki 慶應義塾大学 KDS <Debater>TiTech Cup 2018 Grand Finalist、JPDU Spring Tournament 2019 Champion 3rd best Speaker <Judge> Philosophy Open 2019 Best Adj
The Kansai 2019, NDO 2018, JPDU Autumn Tournament Breaking Adj、Tokyo Mini 2018, KDO 2019, Gemini Cup 2019 DCA、
- 12 鈴木玄 Gen Suzuki 早稲田大学 WAD
- 13 倉田芽衣 May Kurata KDS/Grinnell Debate Union HPDU 2014 準優勝、HPDU 2015 優勝、フィロソフィーオープン 2019 準優勝、フェミニズムオープン 2018 優勝&決勝ベストスピーカー、QD02019 Semi Finalist
- 14 得永一樹 Kazuki Kaicho Tokunaga 東京大学 UTDS OB <Debater> 2019 Osawa Cup Reserved Break, 2014 JPDU Autumn Tournament Semi Finalist <Judge> 2019 K-Cup 3rd best adjudicator, 2018-2019 栃木県春季大会審査委員長、2015 JPDU Autumn Tournament Best Adjudicator, <Others> 2015 2018-2019 JPDU 新年会司会、2016-2017 HPDU 最優秀アルフォートプロバイダー
- 15 小菅瞭太 Ryota Kosuge 大阪大学 OB <Debater> 4th Best Speaker, ICUT 10th Best Speaker, NDO
Grand Finalist, Japan BP Semi Finalist, ESUJ <Adjudicator>Multiple times member of Chief Adjudication Panel
- 16 渋谷浩之 Hiroyuki Shibuya 東京大学 UTDS OB Grand Finalist &3rd Best Speaker, JPDU Autumn Tournament 2017、Kcup2019 Best Adj、Ryoso Cup2018/Tokyo Mini 2017 CA
- 17 ハウ文恵 Emmy Howe2019 QDO Novice GF
- 18 市岡彪吾 Hugo Ichioka Zushi Kaisei Champion, JWSDC 2019 5th Best EFL Nation, WSDC 2019
- 19 森田敢 Kan MoritaOsaka -Rookie Grand Finalist (RGF Best Speaker) & 5th Rookie Speaker, JPDU Autumn Tournament 2019 -Semi Finalist & 5th Best Speaker, Umeko Cup 2019、-Grand Finalist & Best Speaker, BP Novice West 2019、-Grand Finalist & 4th Best Speaker, Momiji Cup 2019、-Rookie Champion (RGF Best Speaker) & 7th Rookie Speaker, Japan BP 2019、-Pre Semi Finalist & 3rd Rookie Speaker, Ryoso Cup 2019、-

- Grand Finalist, KK-Cup 2020 -Rookie Grand Finalist & 3rd Rookie Speaker, The Kansai 2020
- 20 池原俊明 Toshiaki Ikehara ICUDS/WAD Alumni A legendary
- 21 栗原悠太郎 Yutaro Kurihara Tokyo ESL Finalist & EFL Top3 Speaker, WUDC 2019
- 22 羽島千智 Chisato Hashima Kyoto Double Oct Finaist, Icho Cup 2019 Champion & 8th Rookie Best Speaker, BP Novice West 2019 Champion & 7th Best Speaker, Momiji Cup 2019
Pre Semi Finaist, Ryoso Cup 2019, 3rd Rookie Best Speaker, Women's Cup 2019 Semi Finalist & 4th Best Speaker, KK-Cup 2020, Rookie Champion & 3rd Rookie Best Speaker, The Kansai 2020
- 23 藤井葉子 Yoko Fujii Keio/Tokyo 4 times breaking adj in domestic tournaments
- 24 内山健 Takeru Uchiyama 東京工業大学 OB
- 25 早川亮 Ryo Hayakawa 慶應義塾大学 KDS OB Spring JPDU Tournament 2009 Best speaker, 2009年度 Autumn JPDU Tournament 2009 The 2nd best speaker, Japan BP 2009 Best speaker, The Kansai 2009 The 2nd best speaker, ICU Tournament 2009 Finalist
- 26 宮澤愛花 Miyazawa Aika ICUDS <debater> WUDC 2020, ESL Quarterfinalist, EFL 6th best speaker, UT MARA Open 2019 Open Semi finalist, 2nd best speaker <Judge> JPDU Spring nationals 2019, 8th best Adjudicator
- 27 小澤俊哉 Toshiya Ozawa 慶應義塾大学 KDS <Adjudicator>-Overall Best & GF Adjudicator, Taiwan Debate Open 2019, -10th Best Adjudicator, ICU Tournament 2019, -CA, Keio Debate Open 2020 (Debate no Susume 2020), -CAP & GF Adjudicator, Icho Cup 2019 & Osawa Cup 2019 & Aoyama Women's Cup 2019 <Debater>-Open Champion, Top Breaking Team, 7th Best Speaker, The Kansai 2020, -Open Grand-finalist, Top Breaking Team, 2nd Best Open Speaker, JPDU Autumn Tournament 2019, -Open Semifinalist, Best Novice & 12th Best Open Speaker, Beijing Debate Open 2019, -Open Quarterfinalist, North East Asian Open 2019 & Japan BP 2019 & Keio Debate Open 2019
- 28 松尾萌黄 Moegi Matsuo 東京大学 UTDS Open Semi Finalist & Open 3rd Best Speaker, BDO 2019
EFL Semi Finalist & EFL 5th Best Speaker, Australs 2019, Semi Finalist, NEAO 2019 Quarter Finalist, Japan BP 2019
- 29 田村光 Hikari Tamura KDS Open 17th best Speaker & overall EFL best Speaker (2018), EFL Champion (2017), Asian BP, Won all Nationals DCA, UADC 2020
- 30 福田恵大 Keita Fukuda 慶應義塾大学 KDS OB
- 31 和田真優実 Mayumi Wada ICU
- 32 榎本直樹 Naoki Enomoto 東京工業大学 OB 6th Best Adjudicator, JPDU Spring Tournament 2019
- 33 杉山佑奈 Yuna Sugiyama 早稲田大学 WAD

34 一瀬ルアナ Luana Ichinose PDABC2019 Champion、HPDU2019 Semi-finalist

35 金世和 Sena Kim HPDU2019 Champion

36 綾部功 Isao Ayabe

ボランティア：運営委員15名、大学生26名、社会人11名【合計】101名

HPDU役員以外の運営委員：

一瀬ルアナ（渋谷教育学園渋谷高等学校3年）

石塚憲子（ECC ジュニア小金井本町5丁目教室）

岡祐司（渋谷教育学園渋谷中学高等学校教諭）

高桑文子（ECC ジュニア高山台教室）

吉野舞起子（一般社団法人 日本英語交流連盟（ESUJ）事務局長）

各種教育奨励賞：

- 1) ESUJ 賞：優勝チームを英国で行われる英国ESU主催ディベートキャンプ Debate Academy 2019 へ招待（新型コロナウイルス対策のため中止）
- 2) iae グローバルジャパン賞：準優勝チームを豪州シドニー工科大学語学研修に招待（新型コロナウイルス対策のため中止）
- 3) あずさ監査法人賞：参加者全員に HPDU 特製パラメンタリーディベート練習用テキストを贈呈
- 4) 日本英語検定協会賞：予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈
- 5) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：上位4チームにコンサートチケット、または音楽CDを贈呈
- 6) キヤノン賞：第3位のうち1チームにデジタルカメラを贈呈
- 7) キヤノンマーケティングジャパン賞：第3位のうち1チームにスマホ専用ミニフォトプリンターを贈呈
- 8) アルク賞：全国大会予選9位から16位チームに『AFN・VOA・BBCで聴く10年』を贈呈

特記事項：新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催。5種のSNS使用によるオンライン大会。日本初生配信に成功。

（6）理事によるディベート普及活動

北原理事長

- ・2019年7月6日 JATLac 言語文化教育学会シンポジウム2019（早稲田大学主催）パネリスト
- ・2019年11月17日 Shibuya Association of Debaters Invitational Inter-Varsity2019 開催
- ・2020年3月25日 読売新聞東京本社による取材（教育ネットワークHP用記事執筆のため）
- ・2020年5月16日 加藤彰氏による取材（「即興型ディベートの教科書」執筆のため）

小林理事

- ・2019年8月4日 「佐野高校杯ディベート大会」 審査員長
- ・2019年8月16日 日本英語交流連盟主催・教員向けディベートワークショップ 講師

- ・2019年9月14日 中央大学附属中学高等学校 生徒向けワークショップ 講師
- ・2019年12月26日 日本英語交流連盟主催・教員向けディベートワークショップ 講師
- ・2020年2月24日 新潟県立長岡高等学校 生徒向け・教員向けディベートワークショップ 講師
- ・2020年4月より 教員向け英語ディベート指導法動画集, YouTube 上にて公開
- ・2020年5月より 生徒・部活動向け英語ディベート練習用動画集, YouTube 上にて公開
- ・2020年5月13日 加藤彰氏による取材 (「即興型ディベートの教科書」執筆のため)

浜野理事

- ・2019年7月25日 渋谷幕張高校にて British Parliamentary ディベート練習会開催 (講習と練習)
- ・2019年8月7日 埼玉高英研ディベート練習会開催 (埼玉県生徒・教員対象)
- ・2019年8月8日～11日 梨花女子大学校主催 Korea Schools Open 2019 埼玉県チーム引率
- ・2020年2月9日 ウインターカップ全国高校生英語ディベート大会開催 (パラメンタリーの部) 本来はアカデミックの大会だったが、パラメンタリーの部を初開催。

西崎理事

- ・2019年7月14日 フェミニズムオープン ジャッジ
- ・2019年8月31日 Tokyo Debate Open ジャッジ
- ・2020年1月11日 静岡県ワークショップ
- ・2020年2月2日 HPDU 静岡県大会 ジャッジ
- ・2020年5月30日 Korea Japan Online Schools Debate Open ジャッジ
- ・2020年6月6日 Nagoya Debate Open ジャッジ

須田理事

- ・2019年8月31日、9月1日 中高生向けの大会「Tokyo Debate Open」 (主催:筑駒語学部・共催:Tokyo Debate Academy) の開催
- ・公益財団法人 日本英語検定協会 英語教育研究センター ウェブサイトで、Web ショートプレゼンテーション「即興型英語ディベートによる英語学習の動機づけに関する研究」を公開。

https://www.eiken.or.jp/center_for_research/movies/index.html

河野理事

- ・2019年7月14日 京都府公立高校 教員研修 (講師)
- ・2019年7月14日 京都府公立高校 英語ディベートワークショップ (講師)
- ・2019年7月20日 神奈川県英語ディベート練習会 (講師・ジャッジ)
- ・2019年8月3日 愛知県高校英語ディベートワークショップ (講師)
- ・2019年8月4日 栃木県立佐野高校英語ディベート大会 (ジャッジ・講師)
- ・2019年8月16日 ESUJ 教員向けワークショップ (講師)
- ・2019年8月17日 ECC 英語ディベート大会 (トーナメントディレクター)
- ・2019年8月20日 埼玉県公立高校 教員研修 (講師)
- ・2019年8月24日 静岡県高校 教員研修 (講師)
- ・2019年9月29日 徳島県 教員研修 (講師)

- ・2019年9月29日 徳島県 英語ディベートワークショップ (講師)
- ・2019年11月9日 神奈川県英語ディベート練習会 (ジャッジ・運営)
- ・2019年11月11日 半田高校出張授業 (講師)
- ・2019年11月23日 相模原高校 英語ディベートワークショップ (講師)
- ・2019年11月26日 愛知県高校 英語研究会 (講師)
- ・2019年12月8日 柏陽高校 英語ディベートワークショップ (講師)
- ・2019年12月14日 多摩高校 英語ディベートワークショップ (講師)
- ・2019年12月5日 ECC 関西 教員研修 (講師)
- ・2019年12月15日 ECC 関西 英語ディベートワークショップ (講師)
- ・2019年12月23日 日吉高校 出張授業 (講師)
- ・2020年2月5日 柏陽高校 英語ディベートワークショップ (講師)
- ・2020年2月9日 HPDU 神奈川県大会 (トーナメントディレクター)
- ・2020年2月11日 HPDU 愛知県大会 (トーナメントディレクター)
- ・2020年2月24日 神奈川県 練習会 (ジャッジ・運営)
- ・2020年3月7日 ECC 東京選抜練習会 (講師)
- ・2020年3月14日 ECC 東京選抜練習会 (講師)
- ・2020年5月11日 加藤彰氏による取材 (「即興型ディベートの教科書」執筆のため)
- ・その他: WSDC Team JAPAN ヘッドコーチ: 練習会運営/コーチング/引率

小野チーフコーチ

- ・2019年7月毎週3回 オンラインディベートプラットフォーム Mixidea にてレクチャー
- ・2019年7月14日 ECC 練習会にてレクチャー
- ・2019年7月27日 高校生BP 練習会審査員
- ・2019年8月毎週3回 オンラインディベートプラットフォーム Mixidea にてレクチャー
- ・2019年8月17日 渋谷教育学園渋谷ディベート部合宿にてコーチング
- ・2019年8月31日、9月1日 Tokyo Debate Open 審査員長
- ・2019年9月毎週3回 オンラインディベートプラットフォーム Mixidea にてレクチャー
- ・2019年9月10日 筑波大学不足駒場高校にてレクチャー
- ・2019年9月12日 攻玉社高校にてレクチャー
- ・2019年9月14日 渋谷教育学園渋谷中学高等学校文化祭にてモデルディベート
- ・2019年9月25日 社会人練習会にてレクチャー
- ・2019年10月5日 福島磐城高校にてレクチャー
- ・2019年11月3日 ECC 豊中練習会にてレクチャー
- ・2019年11月4日 西山先生主催合同練習会にてレクチャー
- ・2019年11月17日 Shibuya Association of Debaters Invitational Inter-Varsity2019 にてレクチャー
- ・2019年11月23日 カリタス学園にてレクチャー
- ・2019年11月24日 社会人練習会にてレクチャー
- ・2019年12月15日 静岡藤枝明誠高校にてレクチャー

- ・2019年12月21日、22日 PDA 全国大会にて審査員
- ・2020年1月12日 社会人練習会にてレクチャー
- ・2020年1月26日 HPDU 栃木大会審査員長
- ・2020年2月2日 HPDU 千葉審査員長
- ・2020年2月9日 HPDU 東京審査員長
- ・2020年2月11日 社会人練習会にてレクチャー
- ・2020年5月6日 加藤彰氏による取材（「即興型ディベートの教科書」執筆のため）

西山西日本代表

- ・2019年11月4日 香里ヌヴェール学院にてディベート講習会開催 講師：小野チーフコーチ
- ・2020年1月19日 Sunny 5にてディベート講習会開催 講師：和田真優実さん（ICU）
- ・2020年3月19日 オンラインによるディベート講習会開催 講師：和田真優実さん（ICU）

2021 年度HPDU役員

理事長 北原隆志 (渋谷教育学園渋谷中学高等学校教諭)

事務局長 古賀記洋子 (日本大学第一高等学校教諭)

理事 小林良裕 (豊島岡女子学園高等学校教諭)

前田和 (埼玉県立久喜北陽高等学校教諭)

浜野清澄 (さいたま市立浦和高等学校教諭)

西崎真広 (翔凜中学校・高等学校教諭)

天海揚介 (OBOG 代表)

須田智之 (筑波大学附属駒場中・高等学校教諭)

大関朝美 (富士見中学校高等学校教諭)

河野周 (聖光学院中学・高等学校教諭)

監事 油井直次 油井アソシエイツ株式会社 代表取締役

名誉顧問 明石 康 (公益財団法人 国立京都国際会館理事長、一般社団法人日本英語交流連盟
副会長、元国連事務次長)

沼田貞昭 (一般社団法人 日本英語交流連盟会長、元駐カナダ大使)

顧問 加藤一郎 (千葉大学客員教授、元全農代表理事専務)

新庄一郎 (弁護士、元検察庁検事正)

酒井弘行 (公認会計士、元KPMGジャパン日本代表、元あずさ監査法人理事長)

大会主顧問 岡田真樹子 (一般社団法人 日本英語交流連盟常務理事、元山梨英和大学 人間文化
学部人間文化学科 教授)

大会特別顧問 綾部 功 (東海大学 文学部英語文化コミュニケーション学科 教授)

中川智皓 (大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 准教授)

HPDU 西日本代表 西山哲郎 (香里ヌヴェール学院小学校 学校長)

チーフコーチ 小野暢思

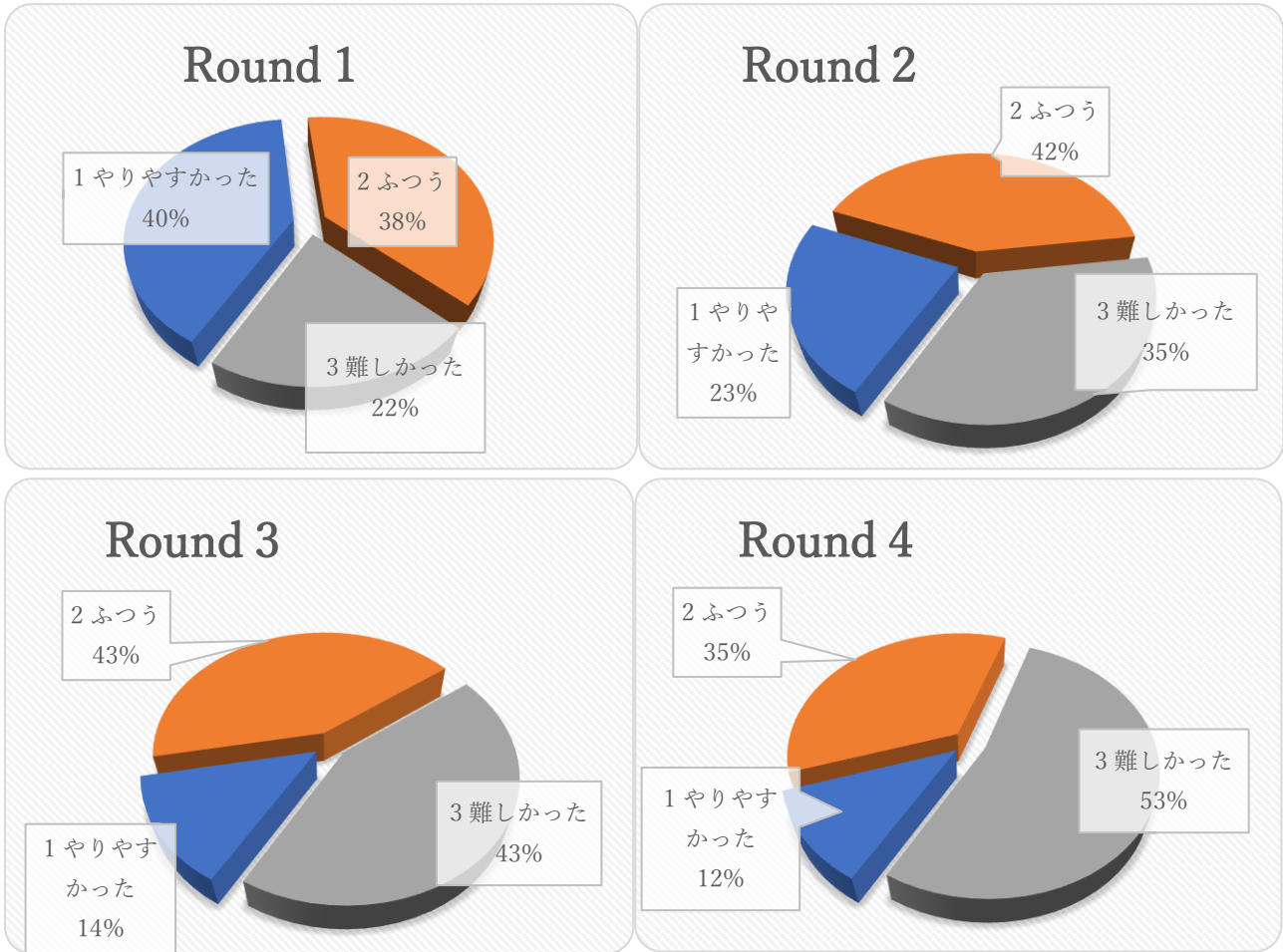
- ・ 2014 年 ESUJ 大学対抗ディベート大会優勝、2016 年 ESUJ 社会人英語ディベート大会優勝、2017 年第 20 回記念 ESUJ 英語ディベート大会優勝など、国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝 32 回、ベストスピーカー賞 28 回
- ・ 2015 年パラメンタリーディベート世界大会 (World Universities Debating Championship) ESL 部門 Quarter Finalist、EFL 部門 4th Best Speaker
- ・ 各種セミナーの講師を務める

※なおHPDUの大会は全てボランティアにより運営されています。

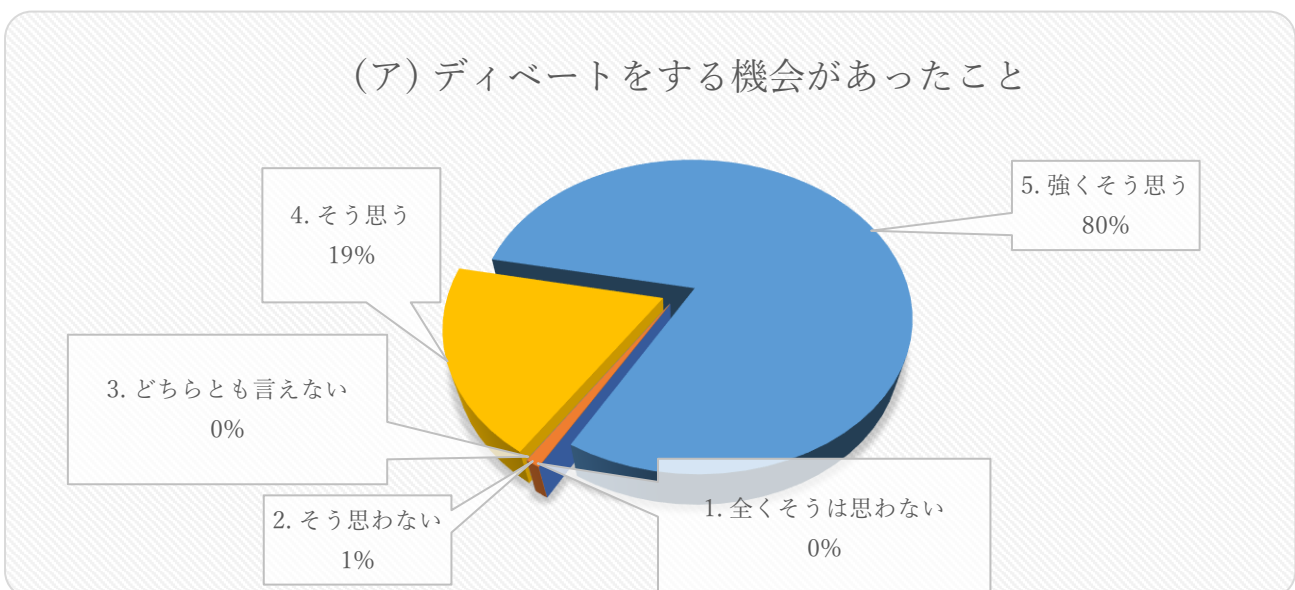
ご参考

■ 第9回 連盟杯 (2020年3月) 参加者アンケート 回答総数 111

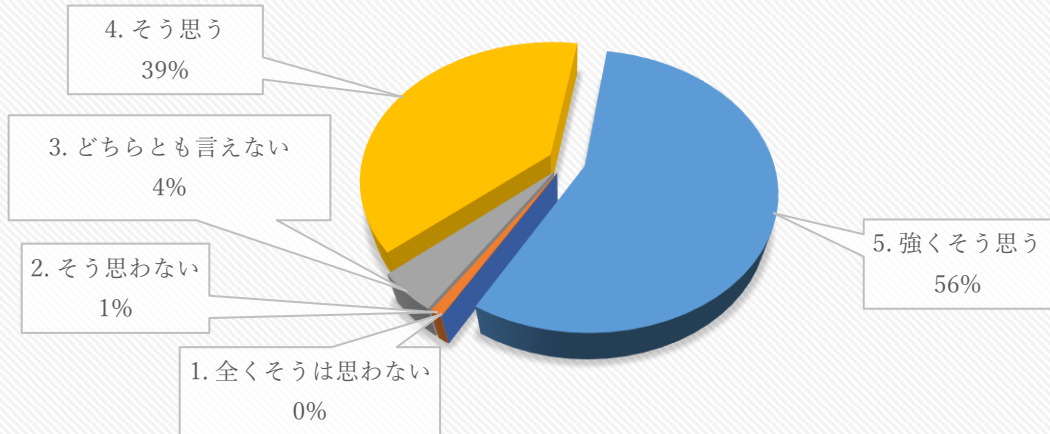
1. 予選試合の論題はどうでしたか



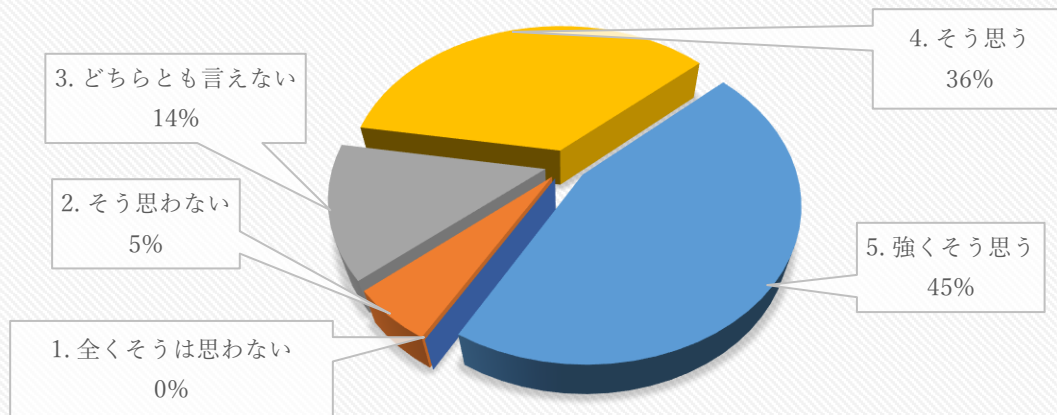
2. この大会で良かったことは何ですか。



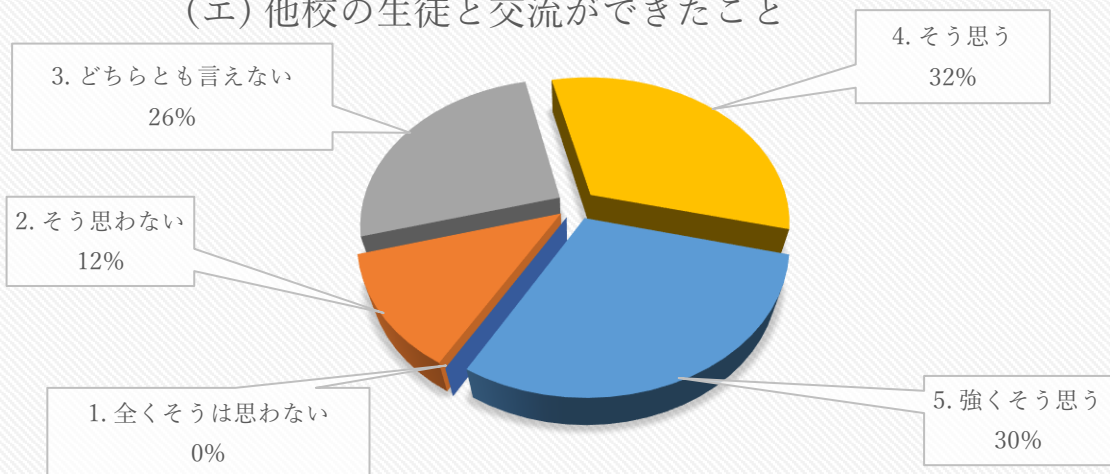
(イ) ジャッジの講評が参考になったこと



(ウ) 他校の生徒を見て励みになったこと

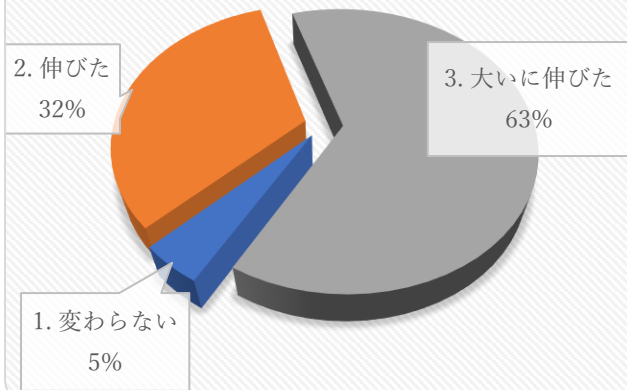


(エ) 他校の生徒と交流ができたこと

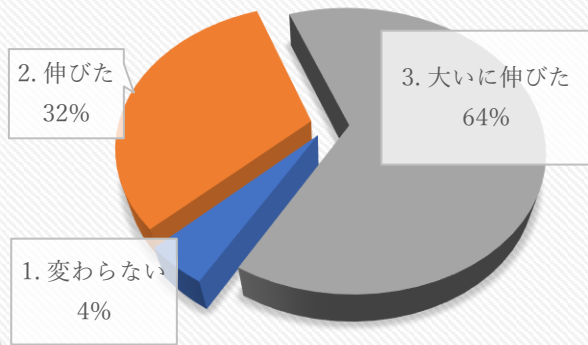


3. Parliamentary Debate を通して、どのような力が伸びたと思いますか。

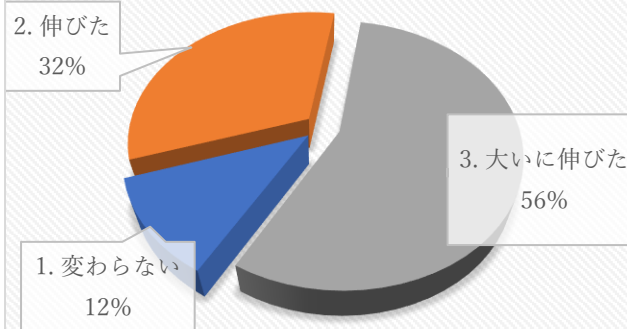
(ア) 知識・教養



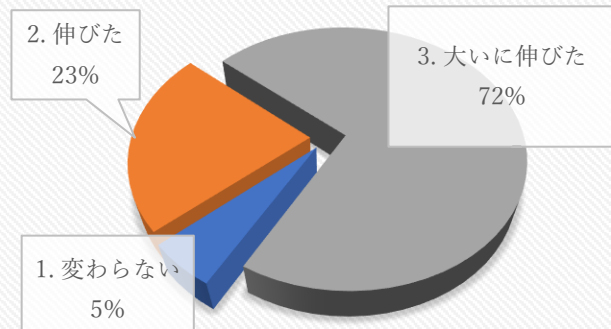
(イ) 英語で発表する力



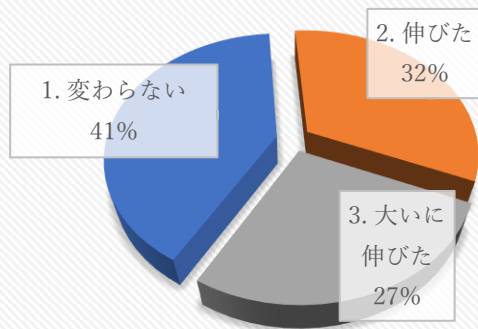
(ウ) 英語を聞く力



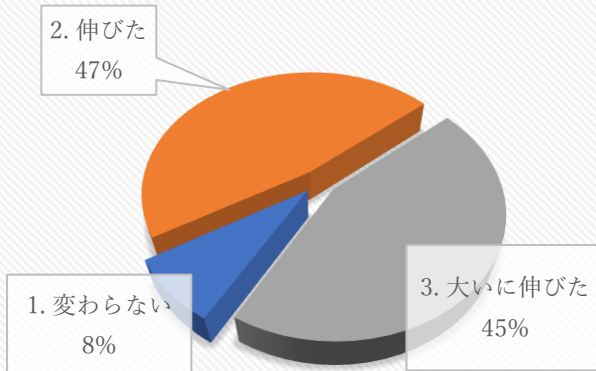
(エ) 論理的思考力



(オ) 英語の文法力

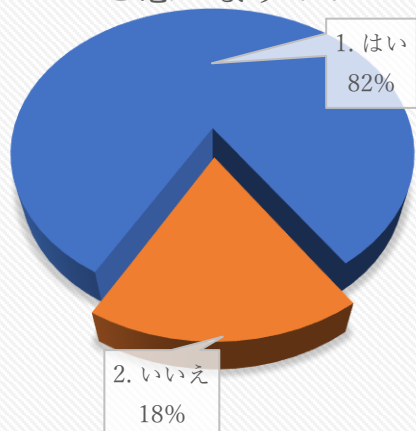


(カ) 英語の語彙力

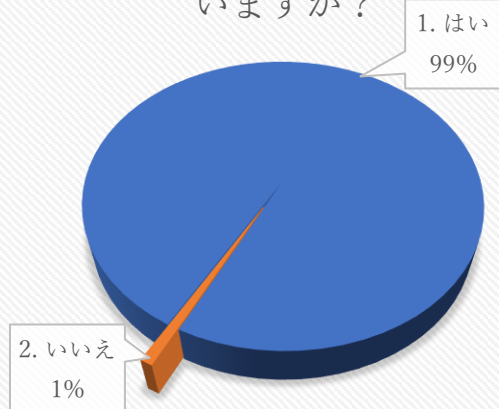


4. Parliamentary Debate(PD) についてお答えください。

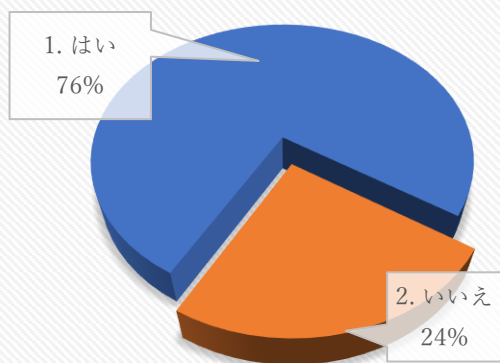
(ア) PDは大学受験に役立
つと思いますか？



(イ) PDは将来役立つと思
いますか？



(ウ) PDを授業でもやりたいと
思いますか？



読売新聞教育ネットワークニュース (2020年4月28日 11:03 配信) より

筑駒高の1年チームが初優勝 高校生の英語ディベート



オンラインで行われたディベート

時事問題などを高校生が英語を使って即興で討論する「第9回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 全国大会」(文部科学省など後援、メディアパートナー読売新聞)が3月22、23の両日開かれ、筑波大付属駒場高(東京＝筑駒)のチームが初優勝した。同チームのメンバーは1年生ばかり。1年生の優勝も初という快挙だった。準優勝は渋谷教育学園渋谷高(同＝渋谷)。

今年は、全国大会に進んだ52校のうち、新型コロナウイルスの影響などで8校が辞退し、44校が参加した。

大会では、「密集」状態を避けるため、ウェブ会議サービスZoomや無料通信アプリLINE、Facebookなどを活用。生徒らは無線LAN環境が整った学校や自宅に、審査員らは東京都内の施設にそれぞれ集合。パソコン画面を通したオンライン・バトルを繰り広げた。

決勝戦で示された論題は「私的所有権を廃止する」。対戦直前に、「廃止」を提案する側の「与党」に渋谷、それに反論する側の「野党」に筑駒が割り振られ、各チーム(3人)は25分間で自分たちの主張を準備・整理した。対戦では、激しい討論の結果、筑駒が13人の審査員の大半から支持を得て勝利した。



優勝した筑波大付属駒場高の生徒

決勝戦での論題について、与党側になった渋谷は「論題の意味自体を読み解くのに時間がかかってしまった」「国際社会を見回すとほとんどの国で資本主義制が取り入れられ、個人の資産が尊重されるのが当たり前の風潮があるので、それに逆らうのはジャッジに良い印象を残すのも難しく、また実際に共産主義制を導入して経済が上手く行っている国もほぼ無いためどう証明していこうかすごく迷った」という。

一方の野党側の筑駒は「決勝戦でこの(レベルの)論題が出るのか」と驚いたものの、「2016年の大学生の世界大会(WUDC)決勝で出た(有名な)問題だったので与党サイドでも困らなかったと思うが、この論題を肯定する哲学的考察は準備時間内に思いつくのは難しいので、予備知識なく政府側になった場合は、難しかっただろう」と余裕を見せていた。

また、オンライン開催となったことについても、最近ではディベート自体がオンラインで実施するケースが増えているので、普段から大学生チームや社会人チームと対戦してスキルを磨いている筑駒のメンバーとしては、楽勝だったのかもしれない。

回線トラブルなどで試合が続行できなくなる事態も懸念されたが、「大きなトラブルはなかった。ほっとした」と北原隆志日本高校生パラメンタリーディベート連盟理事長（渋谷教育学園渋谷高教諭）は胸をなで下ろしていた。

審査員の談話



2014年、2015年の大会に渋谷教育学園渋谷高チームの一員として参加、今回初めて審査員として参加した倉田芽依さん（米グリネル・カレッジ留学中）に今回の全国大会を振り返ってもらった。

2015年の大会で渋谷教育学園渋谷高チームの一員として参加、優勝したが、当時の私が今回参加して優勝できたか定かではない。それほど参加者のパフォーマンスはきわめてよかった。優勝した筑波大付属駒場高、準優勝の渋谷教育学園渋谷高、準決勝で敗れた渋谷教育学園幕張高の各チームには、高校生英語ディベートの世界大会、「ディベート世界選手権（WSDC）」の日本チーム代表が入っているが、出来をみると2020年のWSDC大会（メキシコ市、7月19日～29日予定）ではこれまでにない成績を収めるのではないかと考えている。

決勝進出の8校

- 県立宇都宮東高（栃木）
- 渋谷教育学園幕張高（千葉）
- 渋谷教育学園渋谷高（東京） 準優勝
- 筑波大付属駒場高（同） 優勝
- 栄光学園高（神奈川）
- 聖光学院高（同）
- 関西学院千里国際高（大阪）
- 神戸大付属中等教育学校（兵庫）



コロナウイルスに十分注意しながら行われた審査

決勝トーナメントで出された論題（motion）

1日目（3月22日）

第1ラウンド

This House would abolish the Olympic games.

本院はオリンピック競技を中止する

第2ラウンド

This House would prohibit criminals from publishing descriptions of their crimes.

本院は犯罪者が自分の犯罪内容を公表することを禁止する

第3ラウンド

This House believes that the state should not subsidize art.

本院は国が芸術に助成金を支給するべきではないと信じる

第4ラウンド

This House believes that feminism movement should oppose affirmative action for women.

本院はフェミニズム運動は女性のためのアファーマティブアクションに反対するべきだと信じる

2日目 (3月23日)

QF (Quarter Final=準々決勝)

This House believes that humanitarian aid does more harm than good to active conflict zone.

本院は紛争中の地域に対する人道援助は、害の方が大きいと信じる

SF (Semi Final=準決勝)

This House would prohibit corporations from sponsoring academic research.

本院は法人が学術研究に出資することを禁じる

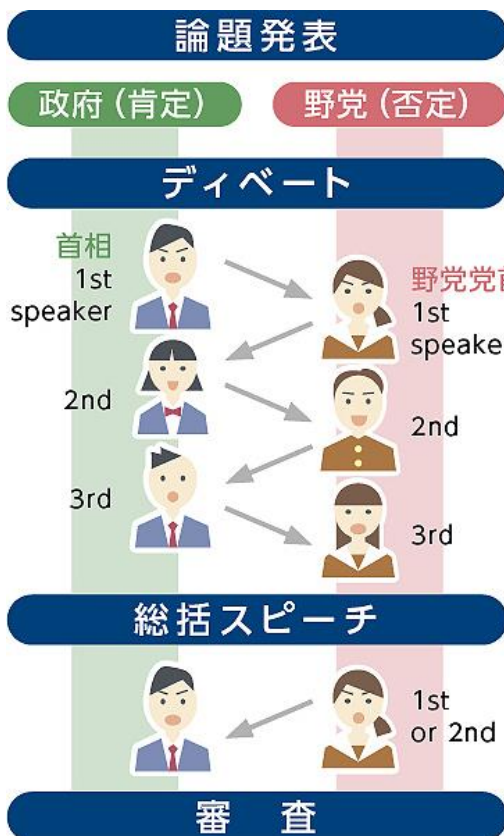
GF (Grand Final=決勝)

This House would abolish private property.

本院は私的所有権を廃止する

■即興型英語ディベートとは Parliamentary Debate

もともと、イギリス議会の答弁トレーニングとして始まった競技ディベート。高校生、大学生向けの国際大会や世界大会がある。



【高校生連盟杯の流れ】

試合の約20分前に論題が発表される。各3人のチームには政府(肯定)と野党(否定)の役割が与えられ、限られた時間と知識で立論することが求められる。1人4分~7分でそれぞれの主張を述べた後、質問や反論をしながらスピーチを繰り返し、どちらがジャッジを説得できるかを競う。

1) 論題発表

政府、野党の立場決定 20分でスピーチ準備 (決勝は25分)

2) ディベート

賛否の根拠、議論裏づける具体例を示しながら主張と反論 (各5分、決勝は7分)

3) 総括スピーチ

改めて自説の優位性をアピール (各4分)

4) 審査

ロジックとエビデンスはあったか? 優れたスピーチをジャッジ

関連記事: 教育ネットワーク会報 40号